

カリフォルニアアシカにおける前肢からの採血トレーニングについて

○川名愛鈴, 野間重和, 宮園智子, 和田夏海
(マリンワールド海の中道)

マリンワールド海の中道では、カリフォルニアアシカの健康診断方法として、ハズバンダリートレーニング（受診動作訓練）による採血を実施している。採血箇所は主に後肢趾間静脈で行っているが、血管は細く、冬季の採血や大量の採血が困難な場合がある。そこで、後肢趾間静脈よりも太い前肢前腕静脈からの採血を目的としたハズバンダリートレーニングの取り組みについて報告する。

左前肢前腕静脈から横臥姿勢で採血を行うため、採血姿勢の一定時間の維持と複数名の飼育員で採血を行うための脱感作トレーニングを実施した。採血前に左前肢を温湯(42°C前後)に5分間浸漬することで血管を怒張させ、給餌者、前肢保持者、駆血担当者、獣医師の4名で採血を実施した。採血姿勢は左体側を床面に接触させる状態で行えるように訓練した。訓練は2025年7月1日より開始し、左前肢をバット内の温湯に浸漬した状態を維持する訓練を約1か月間(1セッション/日)実施した。8月以降は実際の採血を想定し、関与人数を段階的に増やしながら訓練(1セッション/日)を進めた。訓練開始から約3か月後の2025年10月12日に受診動作が完成したため、左前肢前腕静脈より初めて採血を行うことができた。その後も最大10分間の姿勢維持、50ml程度の採血量の確保が可能となった。

今後は右前肢前腕静脈でも同様な訓練を行い、安定して採血ができるように引き続きハズバンダリートレーニングを継続して実施していきたい。